

認知症に関する 正しい知識と治療・ケア

◇ 『おばあちゃんは、ぼくが介護します。』

アラサー男性、とことん在宅介護で
学んだこと』
奥村シンゴ／著 法研

30代男性が、働きながら祖母の介護を8年間続けた記録。実用情報の紹介や新しい生活様式にともなう介護の方法にも言及する。

◇ 『認知症かもしれない家族のために』

できること』
千葉京子、鷹野朋実／編 弘文堂

認知症の可能性がある人と暮らす家族が抱える困りごとなどを、Q&A形式で解説する。自分や家族が「もしかして、認知症かも？」と思ったときに最適の1冊。

絵本で知る認知症

◇ 『おばあちゃんのおうち』

はせがわさとみ／さく・え メディカル・
ケア・サービス株式会社／監修・制作協力
学研プラス

もの知りだったけれど、だんだん忘れっぽくなってきたリスのおばあちゃん。おばあちゃんが楽しく過ごせるようにグループホームや介護士の手を借りてみんなで支えよう。ひらがなの文と優しい水彩の絵で心を和ませてくれる絵本。

◇ 『おじいちゃんの手帳』

藤川幸之助／さく よしだよしえい／え
クリエイツかもがわ

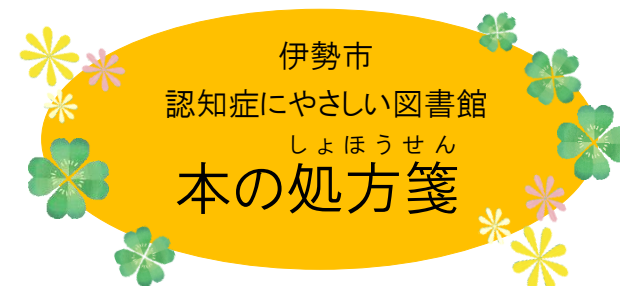
どこへ行くときも小さな手帳を持ち歩いているおじいちゃん。手帳の中には、家族と自分の名前や、たくさんの質問が書いてあって…。認知症のことを子どもの目線でわかりやすく描いた絵本。

イラストエッセイ

◇ 『ひろぼと暮らせば』

三丁目いちこ／著 ワニブックス

認知症になった義父“ひろぼ”との大変だけれど温かくて楽しかった日々を優しい筆致で描いたイラストエッセイ。



Vol.6 2021年7月5日発行

※紹介している本は、伊勢図書館
または小俣図書館で貸出ができます。
貸出中の場合は予約ができます。